

## ウズベキスタン研修の感想

私はこの研修が初めての海外だったので、行く前は心配なことがたくさんありました。

しかし、一緒に行ったメンバーは個性にあふれた人たちで、楽しく研修をすることができました。ウズベキスタンで一番印象に残っていることは、人が優しくったことです。最初は急に話しかけられることに戸惑いましたが、バザールなどに行ったとき、店員さんが親しみを込めて「兄弟」と呼んでくれたことがおもしろくて、そこからは進んで話すようになりました。ウズベキスタンの公用語はウズベック語とロシア語ですが、英語が話せる人がたくさんいました。また、驚いたことに、日本語で話しかけられたことも多くありました。

日本語学校に行った時は、小さい子どもたちが日本語や日本の文化を学んでいることに驚いたと同時に、日本に対して関心を持ってくれていることに嬉しさを感じました。



## 日本語学校

## 現地の高校生



# ウズベキスタン海外派遣



3年G組 K.S.

## 街並み

ウズベキスタンの首都タシュケントには新市街と旧市街があって、新市街ではビルや写真のような屋台が多かったです。旧市街では古くから建っている住宅が並んでいます。今でも人は住んでいて、気軽に話かけてくださって良かったです。そのほかにも新市街に比べて歴史的建造物が多くきれいな公園などもありました。どちらもほとんどゴミは落ちていなく空気も新鮮でした

## 現地の買い物

私は現地にいたとき、毎日のようにいろいろな場所で買い物をしました。印象に残っているのは、初めて買い物をした神学校です。神学校とは、昔、宗教を教えていた学校で、今は使われておらず、お土産屋として形を残していました。店員さんは、私たちがわかるように、英語やジェスチャーで伝えてくれて、楽しく買い物することができました。布類が売っているお店では、スカーフを試着させてもらったり、おすすめの服を持ってきてくれたりしました。神学校のお土産屋さんだけでなく、市場やスーパーなどにいる人もみんなが親切にしてくれて、とてもうれしかったです

### → 新市街



### ← 旧市街



### 外観



### 内部